

「人生会議」してみませんか

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning:ACP）の愛称です。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、

万が一のときに備えて、自分が望む医療やケアについて、自分自身で前もって考え、どのような医療やケアを望んでいるかについて、本人による意思決定を基本として、家族や信頼のおける人、医療・介護従事者とあらかじめ話し合うプロセスのことです。

もともとは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という名称で取り組まれていましたが、より馴染みやすい言葉として浸透するよう、厚生労働省によって「人生会議」という愛称で呼ばれることが決められました。

いざというときに、自分がどのような医療を受け、どこで過ごしたいのか。まえもって自分自身で考え、周囲の信頼する人たちと話し合っておく「人生会議」を繰り返すことが大切です。

近大奈良病院では、ACP「人生会議」の普及活動を推進しています。

パンフレット「**人生会議のきろく**」と、「**パンフレット活用についての説明文書**」を作成し、手にとって使用していただけるようポスターとともに院内に設置しています。



また、下記からもダウンロードしていただくことができます。ぜひ、ご覧ください。
ご自身で記載していただき、周りの大切な人と話し合いをしてみてください。

大切な人とみんなで話し合う
人生会議のきろく

～いざというときに困らないために、
自分の思いを書いてみませんか～

近大
奈良病院
作成

アドバンス・ケア・プランニング
Advance Care Planning

近畿大学奈良病院 ACP推進ワーキンググループ

人生会議のきろく

大切な人とみんなで話し合う
人生会議

近大
奈良病院
作成

～パンフレット活用についての説明文書～

アドバンス・ケア・プランニング
Advance Care Planning

人は誰でも、命にかかわるような病気やケガをすることがあります。そのときになってからでは、約70%の人がこれからの治療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりできないと言われています。

いざというときに、自分がどのような医療を受け、どこで過ごしたいのか、まえて自分自身で考え、周囲の信頼する人たちと話し合っておく「人生会議」をくり返すことが大切です。

この説明文書は「人生会議のきろく」のパンフレットを手に取り、話し合い記載をしていくときに使用します。一度にすべてを考えて、決めてしまう必要はありません。また、気持ちが変わることよくあることです。いつでも追加、修正、変更ができます。病状や症状が変化したとき、考えが変わったとき、誕生日など定期的に考えを整理しなおし、信頼できるまわりの人たちと話し合いましょう。

近畿大学奈良病院 ACP推進ワーキンググループ

パンフレット活用についての説明文書